

3年福祉保育コース「介護過程」（選択科目）多職種の外部講師から学ぶ

令和5年6月16日（金）5時間目

理学療法士による講座

社会福祉法人 大宮フロイデハイム 國井 崇洋 様

講座では、「リハビリテーションは、単なる機能訓練ではなく、日常生活の活動を高め、家庭や社会への参加を可能にし、自立を促すもの」であることから、「リハビリテーション計画書」は、患者さんやご家族の希望を基に、リハビリテーション専門職だけではなく、医師や看護師、介護士、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー等が集まって協働して作成していること、計画を一定期間実行した後は、各専門職の視点で評価していくことを学びました。また、体を良くすることを目的に支援をするだけではなく、「相手は何のために、体をよくしたいのか」「相手はどんな生活をしたいのか」という、相手の価値観を大事に専門職として支援していく視点や、介護士は、一番相手の日常生活に関わるため、リハビリ専門職と連携し、生活に活かすリハビリを理解し、毎日の動作に取り入れることでリハビリの役割を担うことができることを理解することができました。

貴重なお話を、ありがとうございました。

